

基調報告：サピエの現状と課題

全国視覚障害者情報提供施設協会 理事長 竹下 亘

1. サピエの利用状況

※下表は2011年度～2021年度の隔年の実績。2020年度のみコロナ禍を見るため追加。

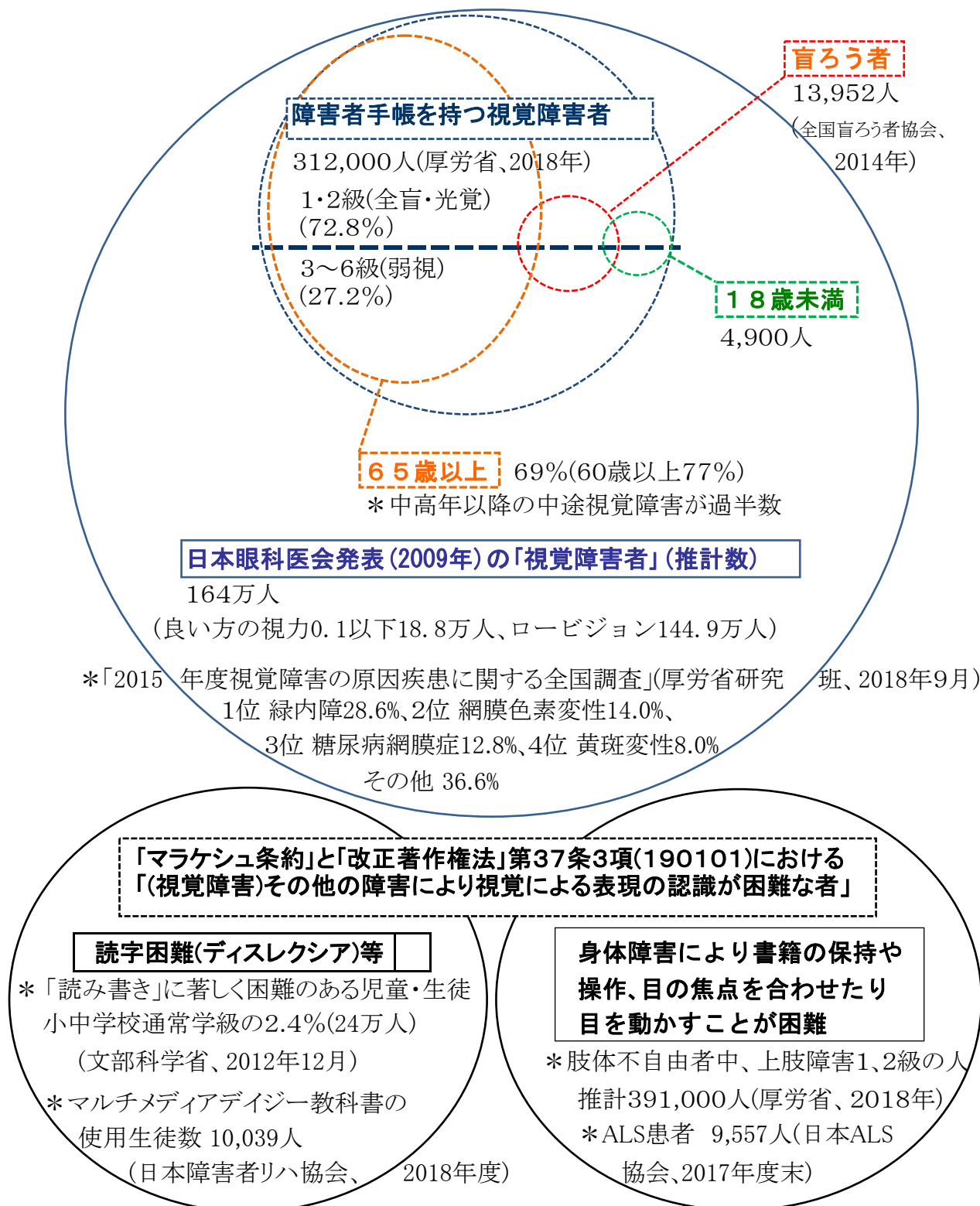
			2011年3月	2013年3月	2015年3月	2017年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月
目録数・データ数	総目録(書誌)数(*1)		529,380		621,624	676,003	728,459	752,137	771,469
	データ数 (タイトル数)	点字	124,073	145,765	165,755	187,416	209,858	220,915	231,937
		音声デイジー	22,897	42,795	61,849	72,566	88,526	95,503	102,571
		テキストデイジー	37	196	1,491	4,078	7,155	8,777	10,639
		マルチメディアデイジー	0	22	63	141	240	282	350
		シネマ・デイジー		—	150	284	417	525	618
	国会図書館 データ数 (タイトル数)	点字			35	279	1,563	1,642	1,934
		音声デイジー			3,451	11,582	19,376	23,652	27,254
		テキストデイジー			0	26	15	22	51
		マルチメディアデイジー			0	26	54	65	518
	年間ダウンロード (タイトル数)(*2)	点字(音声利用多数)	710,502	741,827	709,155	656,099	630,081	595,803	606,581
		音声デイジー	359,655	1,491,445	2,493,014	2,742,193	3,182,171	3,428,499	3,839,658
		テキストデイジー	1,483	5,154	108,960	170,020	254,707	278,505	349,548
		マルチメディアデイジー	0	946	1,948	4,942	5,993	6,193	6,533
		シネマ・デイジー	—	—	129,038	104,342	115,898	151,221	158,364
利用会員数	個人会員		8,403	11,208	13,446	15,206	16,942	17,832	18,559
	うちB会員		43	128	226	312	403	469	522
	施設・団体会員		223	261	291	343	382	393	419
	うち点字図書館		86	86	86	86	86	86	86
	公共図書館(*3)		58	87	110	161	190	199	220
	盲学校		8	13	18	20	26	28	28
地域生活情報	新規登録記事数(年)				2,991	3,072	3,824	2,695	7,217
	記事閲覧数(年)		5,277	22,811	42,072	21,450	27,470	17,605	26,235
	音声ダウンロード数(年)		4,677	15,452	8,078	462	397	167	253
	情報閲覧の実利用者数			658	1,062	700	597	421	580
	「訪問者数」合計(年)			19,637	32,663	27,260	36,669	43,252	39,706
図書支援製作	利用施設・団体数		27	57	41	84	85	86	90
	読み方調べ検索数(年)		6,631	32,368	13,899	19,906	26,072	24,523	20,070
	「訪問者数」合計(年)		—	34,954	48,936	52,595	74,192	77,788	77,490

(注)1. 記載のない欄は未集計。

2. *1総目録(書誌)数は、国会図書館からのアップタイトル数は含まない。

3. 2ダウンロード数に国会図書館からのダウンロード数は含まない。

(参考) 読書バリアフリー法(マラケシュ条約、改正著作権法)における
「視覚障害者等」の現状



※上記の類型に当てはまらない多様な読書困難者も「視覚障害者等」に含まれる。

2. 読書バリアフリー法基本計画の進捗状況

(1) 文部科学省

- ＊都道府県等への計画策定の働きかけ
- ＊国民等への周知＝「誰もが読書ができる社会を目指して」の発行・配付

(2) 経済産業省

- ＊委託事業「読書バリアフリー環境に向けた電子書籍市場の拡大等に関する調査」
- ＊会議「読書バリアフリー環境整備のための電子書籍市場等の拡大に関する検討会」

(3) 厚生労働省

- ＊「地域における読書バリアフリー体制強化事業」
- ＊「障害者ICTサポート総合推進事業」
- ＊サピエ推進・拡大のための補助事業

3. 全視情協におけるサピエ発展の取り組み

(1) 第46回高知大会決議（2021年10月13日）

（読書バリアフリー法と同法「基本計画」に基づき、以下の4項目の実現を要望する。）

一 全国の視覚障害者情報提供施設・団体における特定電子書籍等の製作と、情報機器の利用相談・習得支援・機器貸出等に対する国と自治体の支援、及びサピエの安定的な運営と発展に向けての国の支援の強化を要望する。

一 全国の都道府県・政令市等による読書バリアフリー計画の策定を進め、公立図書館や学校図書館等のサピエへの加入を促し、読書バリアフリー法に明記された読書困難者への読書保障を推進するとともに、点字図書館の利用対象者を「障害者手帳を所持する視覚障害者」に限定している自治体の規定の改正を要望する。

一 出版者に対して、①アクセシブルな電子書籍等の出版、②視覚障害者等の原本購入に対する電磁的記録等の提供、③特定書籍又は特定電子書籍等の製作を行う者に対する電磁的記録の提供の実現を要望する。

一 視覚障害者等の読書を支えている点訳や音訳、アクセシブルな電子書籍製作等のボランティアの養成を維持し、安定的な活動を支えるため、「身体障害者社会参加支援施設の設備及び運営に関する基準」において「校正員又は音声訳指導員 1以上」とされている職員配置基準を「各1以上」に改めるとともに、障害者総合支援法において都道府県・市町村の「任意事業」に留められている「点訳・朗読奉仕員等養成研修」事業を「必須事業」に改めることを要望する。

（２）２０２１年度重点事業

今年度、厚労省のサピエ運営費に対する補助金が大幅に増額されたことに伴い、従来業務に加え、以下のような新規事業を計画・取組中。

①サピエ実務委員会と運営委員会の編成・開催

＊サピエ運営委員会＝常任理事会に諮問委員会として、外部の当事者団体、関係団体から委員を募って組織し（厚労省もオブザーバー参加の予定）、今後のサピエの望ましいあり方等について意見を伺う。今年度後半、第１回を開催予定。

＊サピエ実務委員会＝サピエの安定的な運営と発展のために組織し、主に実務的な課題に随時対処する。構成は、全視情協サービス担当理事、サピエ事務局、日点サピエシステム担当者、日ラサピエサポートセンター、全視情協技術顧問。サピエ研修会の開催など、必要に応じて、各専門委員会委員や全視情協理事などの参加を求める。

②新ホームページ（ＨＰ）の開設

現在のサピエのＨＰで対応出来ない諸課題をカバーし、サピエ会員外にも常時情報提供を行うため、新しいＨＰを開設する。主な内容は、サピエのメンテナンス時等の情報提供や自然災害に加え、コロナ禍なども含む災害時の情報提供、サピエをまだご存じない方々へのサピエの紹介、視覚障害者に有用な基本情報の提供など。

③広報事業

サピエの利用対象者等をはじめ家族や関係者に向けて、サピエを広く紹介する動画を製作・公開。合わせて、公共図書館・学校図書館等関係者に向けて、サピエの活用方法を紹介するホームページの開設（上記（２）に掲載予定）。全国の公共図書館等へ向けて、この取り組みを広報するチラシの作成・配付を行う。

④全視情協事務局、及びサピエ事務局の運営体制の強化

全視情協、及びサピエの安定的運営と発展を図るため、今後の引継も含めて、職員を新規採用・増員し、事務所も独立開設を目指す。

⑤厚労省・障害者総合福祉推進事業「点字図書館等におけるアクセシブルな書籍等の提供体制及び製作状況に関する調査研究事業」の受託

点字図書館・点字出版施設・公立図書館等におけるアクセシブルな書籍等の製作や製作人材の育成状況、視覚障害者等の利用状況、ＩＣＴ機器の利用支援状況等を調査・公開し、今後の読書バリアフリー施策の参考とする。

⑥ＡＩスピーカー開発（厚労省補助金外事業）

現在のサピエシステムが利用困難な対象者を主対象に、機能を絞ったシンプルなＡＩスピーカーによる音声デイジー等の読書システムを開発・提供する。本年１２月末の予算・助成金等の状況を見て、実施を決定する。

以上